

地球惑星科学委員会国際連携分科会 INQUA 小委員会(第 25 期・第 1 回)

日時：令和 3 年 8 月 31 日(火) 11:00~12:00

会場：遠隔会議(主催会場：島根大学)

出席者：会員 春山成子；連携会員 阿部彩子、小口 高、奥村晃史、久保純子、齋藤文紀、佐藤宏之、諏訪 元、佃 栄吉、長谷部徳子、原田尚美；その他 吾妻 崇、出穂雅実、岡田 誠、北里 洋、鈴木毅彦

欠席：連携会員 川幡穂高

#### 議事内容

- 1) 役員の選出：委員長に齋藤文紀連携会員、副会長に奥村晃史連携会員、久保純子連携会員、幹事に長谷部徳子連携会員が選出された。
- 2) 議事要旨の委員長一任について：議事要旨はメールにより小委員会内で確認後、委員長に一任されることが承認された。
- 3) 今期の活動について：今季のこれまでの活動について、今年 2 月に開催された学術フォーラムでの講演、5 月の地球惑星科学連合における講演について、資料 2 により齋藤委員長から報告があった。
- 4) チバニアンのゴールデンスパイクの式典に関して：齋藤委員長から来年 5 月に千葉県市原市において式典が企画されているとの報告があった(資料 2 参照)。
- 5) 人新世別府湾の GSSP 提案の今後のスケジュール：齋藤委員長から日本から人新世の GSSP について別府湾を愛媛大学の加三千宣准教授が代表となり提案準備が行われていること、IUGS-ICS-SQS の人新世ワーキンググループによる提案準備状況・今後のスケジュールに関して報告があった(資料 2 参照)。人新世は新しく設置される時代区分であることから、設置承認と GSSP 承認の 2 つの承認が必要であること、ICS の委員には反対する委員が多いことから、提案されても否認される可能性も大きいことなどが意見交換された。
- 6) INQUA 報告ほか、その他：
  - 6-1) INQUA の日本代表と HABCOM の副委員長を務める出穂委員から昨年以降の INQUA 執行部の状況に関して報告があった。HABCOM では会議がオンラインとなり、以前と比べて会議参加の負担が大きくなっている状況などが報告された。
  - 6-2) TEPRO に関しては、吾妻委員、奥村委員から古地震関係に報告があり、昨年のパタの古地震のオンライン会議、イギリスの EDITH プロジェクトのオンライン会議が行われたことが報告された。
  - 6-3) PALCOM に関しては、阿部委員から PAGES などの他のプロジェクトと連携して Termination 1-5 に焦点を当てた新規のプロジェクトが始まったことの報告があった。

6-4) SACCOM に関しては、岡田委員から zoom セミナーが開始されていることの報告があった。

6-5) 齋藤委員長から日本学術会議が支払っている分担金に関して、今年度から審査方式を変更することと、最新活動報告を9月末までに提出ことが求められていることの報告があり、報告書作成に関して活動報告の協力があった。